



# Lascom News

ラスコム・ニュース

2009-5 No. 38

## 地域衛星通信ネットワーク

**新たな展開に関する調査研究会の  
最終報告書について** 2

シリーズJ-ALERT  
J-ALERT専用小型受信機の導入事例の紹介  
～三重県南牟婁郡御浜町の導入事例の紹介～ 4

2社のJ-ALERT専用小型受信機の開発が  
完了しました 6

J-ALERTについてのアンケートの集計結果 7

映像情報の発信事例 8

府庁と災害現場を結ぶ大阪府衛星車載局 9

## 公的個人認証サービスセンター

電子証明書の発行が110万件を突破 10



三重県南牟婁郡御浜町のJ-ALERT導入事例紹介



Lascom 財団法人 自治体衛星通信機構

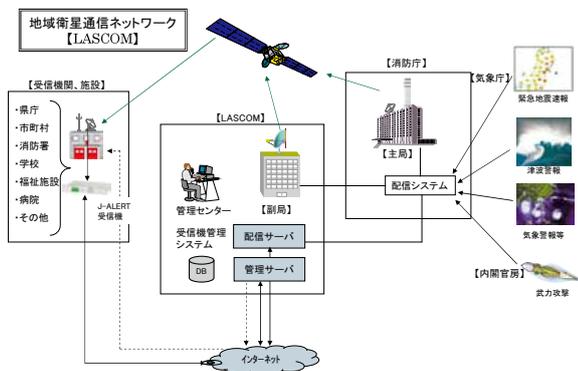
本誌は、宝くじの普及宣伝事業として作成されたものです。

# 新たな展開に関する調査研究会の最終報告書について

平成19年4月に始まった「地域衛星通信ネットワークの新たな展開に関する調査研究会」は、「新しい防災情報ニーズへの対応」及び「新しい製品（ハードウェア）の地域衛星通信ネットワークへの取込み」という目標を達成するために、委員による審議や自治体へのアンケート調査を行い、平成21年3月に最終報告書を纏め上げました。（調査研究会の発足については、ラスコムニュースNo.32参照）

調査研究会は2年間の長期にわたり開催され、机上の審議だけではなく、時には実機による通信実験を行い、実際の環境を委員が体験しました。ここでは、最終報告書に取り上げられた研究成果の要旨をご紹介します。

## 1 J-ALERT



### (1) 高性能で安価な専用小型受信機の開発

衛星受信部と緊急情報の解析処理部を一体化したコンパクトな外観を持ち、音声出力、回転灯の制御、自動起動装置を経由しての防災行政無線との接続だけでなく、接点信号出力(非常時にエレベータを停止させる等の外部機器制御機能)等の各種インターフェイスを持つ受信機を試作しました。

受信機は、現在2社のメーカーで製造されており、受信機本体の価格は、購入台数等で変わりますが、約40～50万円程度で販売されています。

### (2) 信頼できる管理システムの整備

J-ALERTの信頼性を向上するため、送信局の二元化(消防庁・自治体衛星通信機構)を行い、降雨障害、混信妨害及び電波干渉に対する耐性の向上が図られています。また、データ管理を徹底するとともに、不正アクセスに対しての安全性も高められています。

### (3) 基本設計書の整備

専用小型受信機について標準仕様を策定し、それを公開することにより、多くのメーカーが製造することを可能としました。また、専用小型受信機はJ-ALERTシステムの中で、特に信頼性が求められるため、製造された受信機が標準仕様に合致していることを確認し、専用小型受信機がJ-ALERTシステムで確実に動作するための適合性評価を行うことを目的とした、認証制度を制定しました。

### (4) 受信範囲の拡大

消防庁は、「全国瞬時警報システム業務規程」を平成21年1月6日付で制定し、それまで地方公共団体に限定されていた情報受信機関を、指定行政機関並びに国民保護運用室長が認める指定地方行政機関、及び指定公共機関に拡大しました。

また、消防庁では民間施設等への設置についても、地方公共団体が管理すれば可能との見解を示しており、今後の展開が期待されます。

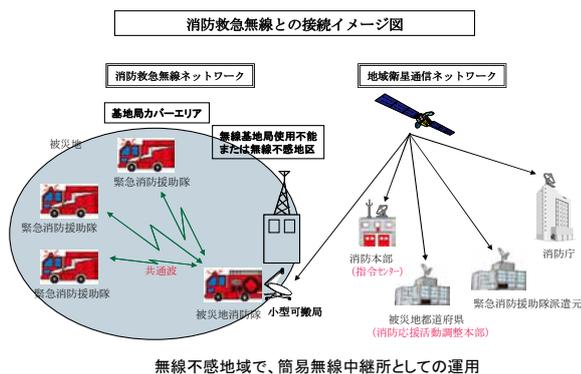
## 2 他網接続

### (1) 消防救急無線との接続

#### ①接続用アダプタの開発

地域衛星通信ネットワークと消防救急無線との接続に際しては、技術的な課題として、「音声品質の劣化」と「伝送遅延」が実用に耐えるかを検証するため、消防救急無線との接続用インター

フェイスを受け持つアダプタを試作しました。

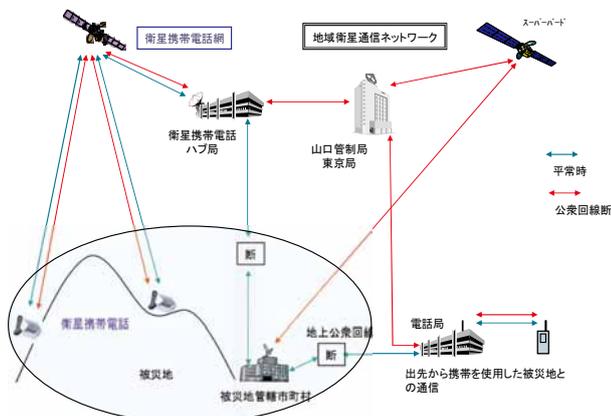


無線不感地域で、簡易無線中継所としての運用

## ②実験による技術的な可能性の実証

試作したアダプタは、機構本部で委員による試験を経て、三箇所の消防本部（前橋市・長岡市・神戸市）においてフィールド実験を実施し、音声品質や音声遅延について検証し、問題ないことが実証されました。また、試作したアダプタに関しては、モニターが出来るスピーカ機能があれば良いとの意見や、接続したことを確認するためのランプが必要等の貴重な意見を聴取することが出来ました。

## (2) 衛星携帯電話及び携帯電話との接続



地域衛星通信ネットワークと衛星携帯電話及び携帯電話の接続に関しては機構本部において、委員による試験通話実験を行いました。音声品質に関しては、どちらも問題がないとの意見が多かったものの、音声の遅延に関しては、衛星携帯電話の場合、話し辛いとの意見がありました（二つの衛星を経由するため、約0.5秒遅れて聞こえる）。これらの公衆網（衛星携帯電話、携帯電話）との接続に関しては、必要がないのではないかと

見もありましたが、非常用のルートとして、必要最低限の規模で接続できるようにしておくべきではないかという意見もありました。

## (3) 法令上の問題

制度面については、消防救急無線との接続は、接続する消防救急無線の無線設備の工事設計の変更に係る手続きや免許人と運用者の間に契約関係（協定）等により、接続が可能であることが判明し、また、衛星携帯電話等の他の電気通信事業者との接続は、業務区域の変更並びに接続する電気通信事業者名及び接続の場所等に係る手続き等により、問題なく接続できることが分かりました。

技術面では、「音声品質の劣化」、「伝送遅延」が実用に耐えうるかを確認する必要がありましたが、フィールド実験において、「音声品質の劣化」及び「伝送遅延等の確認」を行い、実用上の問題はありませんでした。

## 3 小型可搬局の機動性の向上

小型可搬局は、その機動性を生かして災害現場に搬送し、災害現場と災害対策本部間の情報伝達を行うために整備されてきたもので、その活用の仕方によっては、非常に有効に使用することができます。本研究会では、消防救急無線や公衆回線との接続実験において、複数の小型可搬局を使用しましたが、いずれの機種も良好に運用することが出来ました。しかし運用を開始するまでの、搬送、組立て等に関しては、重い大きい、組み立てに時間がかかる、そして衛星の捕捉が難しい等の問題点を実感しました。これらの問題点は、小型可搬局の機動性の向上に、大きく関係してくる重要な事項であるため、早期にメーカーに対して改善を働きかけるよう指摘されました。

以上、調査研究会での成果の概要を述べましたが、実験の詳しい内容や課題についても報告書に記載されていますので、是非ご一読ください。

報告書の全文は、機構のホームページに掲載予定です。http://www.lascom.or.jp/

## J-ALERT専用小型受信機の導入事例の紹介



### 三重県南牟婁郡御浜町の導入事例の紹介

平成21年1月6日付で改正された「全国瞬時警報システム（J-ALERT）業務規程」により、J-ALERT専用小型受信機及び機構配信管理システムが本格的にスタートしました。

機構では、J-ALERT専用小型受信機を先駆的に導入した団体等の導入事例を紹介し、今後導入を検討している団体等の参考にしていただきたい、と考えています。

第一回目の今回は、三重県南牟婁郡御浜町を取り上げます。御浜町は、町内の公立の教育施設全てにいち早くJ-ALERT専用小型受信機を設置し、館内放送で児童・生徒・教職員に緊急情報を伝えることができるだけでなく、防災行政無線網にも接続し、町民に対しても瞬時に緊急情報を伝達出来るようにしております。

今回は、御浜町のJ-ALERTの担当である、和田さんにお話を伺いました。

#### ●まずは、御浜町の紹介をお願いいたします。

御浜町は、昭和33年に阿田和町、神志山村、市木尾呂志村が合併してできました。人口約1万人、三重県の南部に位置し、険しい紀伊山地を背に雄大な熊野灘を望むことができ、世界遺産に登録された熊野古道である本宮道（横垣峠・風伝峠）や浜街道（七里御浜）のある自然に恵まれた歴史深い町です。また、平成20年11月には、町制施行50周年を記念した式典が執り行われたところです。

この地域は、温暖多雨な気候であり、一年を通して多種多様なみかんの栽培を行っていることから、「年中みかんのとれるまち」と呼ばれており、三重県内では生産量第一位を誇っています。

●ありがとうございました。さて、今回御浜町では12台のJ-ALERTを導入されましたが、J-ALERTを導入する前は、緊急情報をどのような仕組みで伝達していたのでしょうか。

独自に防災用サーバを導入し、衛星ひまわりからの情報を利用し、防災行政無線を活用した緊急情報伝達を行っていました。

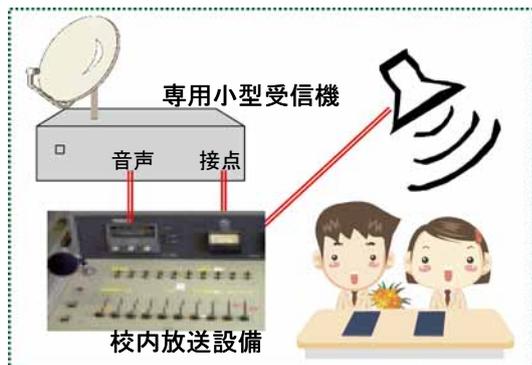
●そうすると、今回J-ALERTを導入しようと思ったきっかけとしては、衛星ひまわりからの伝達サービスの終了という事情もあるのですね。

そうした事情と、当町のシステムでは国民保護関連の情報や緊急地震速報等が自動放送できないものであったこともあり、システムの再構築が必要でありました。

この様な中、上記の情報の中で特に緊急地震速報においては、より確実に迅速な情報伝達が必要であると考えたためです。

●12台の設置のうち、本庁舎に1台を、残り11台は小学校や中学校、保育所となっておりますが、なぜでしょうか。

当町の各保育所、小学校、中学校では、職員室の「防災行政無線個別受信機」及び「屋外の防災行政無線」での緊急情報の受信も可能ですが、普段から一定の人数の集まるこれらの施設には、より確実に迅速な情報提供を行う必要があると考えたからです。

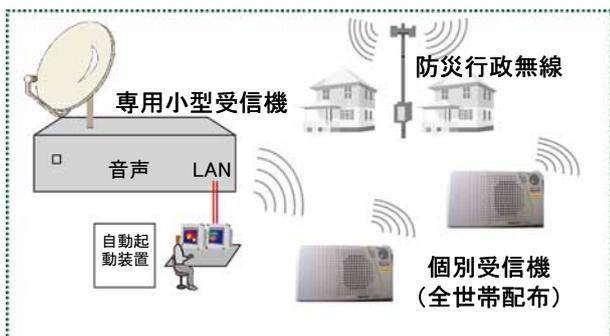


(学校施設での接続イメージ図)



(学校施設での設置の様子)

なお、本庁舎に設置した1台は、「屋外の防災行政無線」の起動装置と接続し、屋外にいる住民には「屋外の防災行政無線」で、家屋の中にある住民には「防災行政無線個別受信機」により緊急情報を伝達できるようにしています。



(本庁舎設置の接続イメージ図)

●今後、J-ALERTには何を期待しますか。

今後とも引き続き、より確実に1秒でも早い情報伝達が可能となるようなシステムの開発を期待します。

●最後になりますが、御浜町は東海・東南海・南海地震という三つの大地震の危険性を抱えている地域ですが、日頃からの防災への心構え等があればお話し下さい。

御浜町は東海・東南海・南海地震が発生した場合、甚大な被害が想定されていることから、避難所・救護所に整備されている資機材の充実やいざという時に慌てることのないように、住民に対する啓発活動を行っております。

今回はお忙しいところありがとうございました。今回の紹介事例は、J-ALERT専用小型受信機を屋外の防災行政無線に接続するだけでなく、子どもたちの生活の場である「教育施設」にも導入し、校内放送設備に接続して、いざという時に備えている三重県南牟婁郡御浜町の事例を取り上げました。

機構では、今後ともJ-ALERTの導入事例を順次紹介して参ります。機構のホームページにも併せて掲載していきますので、各自治体に適した導入計画の参考にしていただければと考えております。J-ALERTの普及推進にご協力いただきますようお願いいたします。

**【まちのプロフィール】**  
 人口 約9,900人。面積 88.28km<sup>2</sup>。  
 三重県のほぼ南端に位置し、険しい紀伊山地を背に雄大な熊野灘を望む。御浜町の語源ともなっている「七里御浜」は、吉野熊野国立公園に指定されており、みかん農園とともに御浜町の代表的な景観となっている。  
 また、紀州犬の発祥地としても知られている。

**【連絡先】**  
 三重県南牟婁郡御浜町大字阿田和 6120-1  
 総務課 05979-3-0505

**三重県南牟婁郡御浜町**

## 2社のJ-ALERT専用小型受信機の開発が完了しました

機構より、J-ALERT専用小型受信機の開発状況についてお知らせいたします。

先行して開発が完了していたセンチュリーシステムズ株式会社製に続き、平成21年3月に、パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社製の専用小型受信機が完成いたしました。

製品名：JARS-1000

【前面】



【背面】



センチュリーシステムズ(株)製の専用小型受信機の外観  
【問い合わせ先：担当者：市川 TEL：0422-37-8911】

パナソニック StarMedia FX：EA-8001は、小型軽量(W290mm×H75mm×D260mm:約3kg)なJ-ALERT専用小型受信機です。

パナソニックでは、単独動作はもちろん、防災行政無線設備や非常用放送設備、屋外広告システムなど、パナソニックの持つ各種システムと連動させることも可能です。

(注：紹介文はいずれも、各社から原稿を頂き作成いたしました。)

この様に、専用小型受信機が二社から開発されたことを受けて、機構としては今後ますますJ-ALERT専用小型受信機及び機構配信管理システムの普及促進に努めてまいります。

(2社の問い合わせ先、パンフレットのダウンロードは機構のホームページからも利用できます。  
<http://www.lascom.or.jp/index.html>から「J-ALERTコーナー」をクリックしてください。)

センチュリーシステムズ(株)製の専用小型受信機は、昨年10月より販売を開始し、自治体・市町村・中央官庁様へ70台以上の稼働実績があります。

前面LEDでは、障害が一目で分かるように障害別に点灯しますので、目視にて障害状況が確認できます。また、機能では衛星モードのみの利用においても、最新のアプリケーションを簡単にバージョンアップが行えます。このように、機能拡張や初期化を簡単に変更できる仕様になっていますので、お客様においても簡単に変更が可能です。

製品名：StarMedia FX：EA-8001

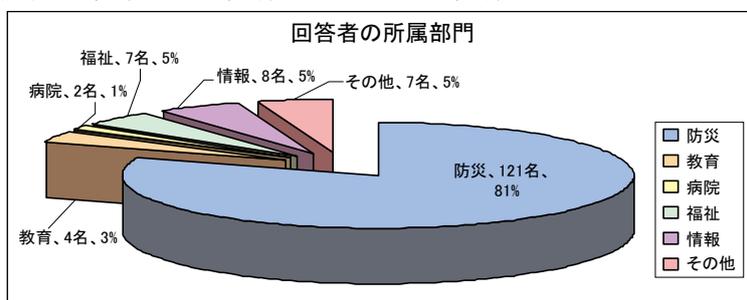


パナソニック(株)製のJ-ALERT専用小型受信機の外観  
【問い合わせ先：パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社 担当：福崎・青山 TEL：(03) 6403-3269】

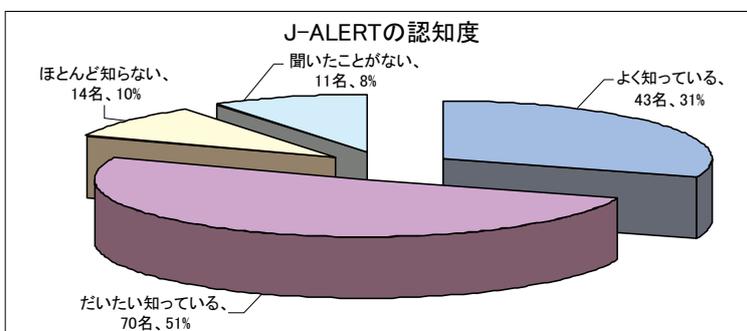
# J-ALERT についてのアンケートの集計結果

機構では、J-ALERT についてのアンケートを、ラスコムニュース37号に同封して実施いたしました。その結果、次のようにとりまとめましたので、この場を借りて報告をいたします。アンケートに回答いただいた団体様には、改めて御礼を申し上げます。

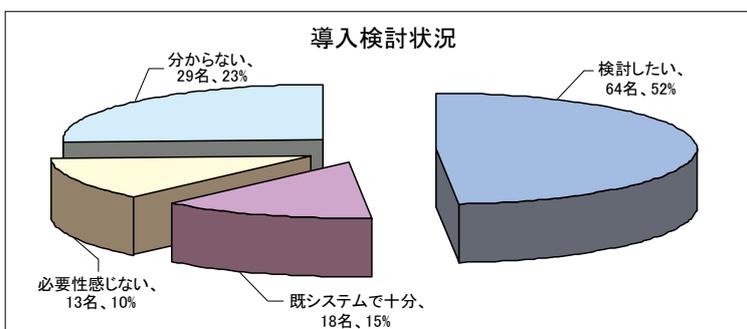
- ・ 回答数…150団体
- ・ 回答内訳 防災部門…121団体、教育施設部門…5団体、病院施設部門…2団体、福祉施設部門…7団体、情報政策部門…8団体、その他…7団体



- ・ J-ALERT に対する認知度は、「よく知っている」と「だいたい知っている」をあわせると82%でした。アンケート回答者のなかでは、非常に認知度は高いという結果でした。



- ・ J-ALERT の導入については、半数以上が「検討したい」と回答がありました。



機構では、今後とも「国民に安心・安全」を提供できるように、J-ALERT の普及推進に努めて参ります。どうぞよろしくお願いたします。

## 映像情報の発信事例

### 定額給付金解説シリーズ①～⑧を放映いたしました!!

(総務省定額給付金室)

「施策の紹介」の放映枠を利用して、総務省定額給付金室による定額給付金の事務説明を「定額給付金解説シリーズ」として、8回にわたって放映しました。

加入する全国の市町村に地域衛星通信ネットワークを利用して配信し、給付金事務の円滑な執行に資することとなりました。



### 各地の地域情報番組を放映いたしました!!

札幌市、静岡県、名古屋市、広島市、山口県、北九州市による地域情報番組を配信しました。平成20年度からデジタル動画の送信につきましては、利用料が全て無料になりました。皆様の自治体でも地域のPRの一環として、是非ご活用ください。



### 全国都道府県財政課長・市町村担当課長合同会議 (総務省)

### 全国都道府県・指定都市公営

### 企業管理者会議 (総務省)

### 全国消防防災主管課長会議 (総務省消防庁)

### 全国都道府県税務主管課長会議 (総務省)

### 全国都道府県市町村税担当課長会議 (総務省)

### 地方公務員共済組合の運営等に関する事務連絡会議 (総務省)



表彰式の模様を放映しました。

### 平成20年度地域づくり総務大臣表彰式 (総務省)

平成20年12月22日に虎ノ門パストラルホテルで開催された地域づくりに対する活動発表及び表彰式の模様を放映しました。



### 平成20年度 JAFRA アワード (総務大臣賞) の表彰式 (財地域創造)

平成21年1月14日にグランドアーク半蔵門 華の間において開催された同表彰式の模様を放映しました。



### 平成20年度全国消防団員意見発表会・消防団等地域活動表彰式 (総務省消防庁)

### 自主防災組織と安心安全なまち

### づくりシンポジウム (総務省消防庁)

### 第61回日本消防協会定例表彰式

(財日本消防協会)

### 平成20年度消防功労者消防庁長官表彰式

(総務省消防庁)



平成21年1月以降に開催された消防関係のイベント、シンポジウム及び消防関係者に対する



### 「地域活性化ビデオ第32巻」元気な地域をつくる食のまちづくり最前線 (財地域活性化センター)

(財地域活性化センターにより作成された地域振興のためのビデオ。食をテーマにした産官学の連携、地域伝統文化とのコラボレーション、情報発信などで元気なまちづくりを行っている3事例を取り上げ、「食による地域活性化」を実現するためのヒントと具体的なアイデアを紹介しました。



# 府庁と災害現場を結ぶ大阪府衛星車載局

大阪府では、映像による被害状況の迅速な発信と、テレビ会議等による災害現場と府庁災害対策本部の緊密な情報共有が可能で、災害対策に威力を発揮する衛星車載局（VSAT）を整備しました。

この車載局は、地域衛星通信ネットワーク第二世代システムに対応し、最大3 Mbpsの情報速度のIP通信が可能です。映像伝送にはH.264の高画質な動画圧縮方式を採用し、また大阪府防災情報システムとも接続しています。

車載局は誰でも運用可能なよう小型化を図り、機動性と容易な操作性を確保しています。

特長は以下の通りです。

- ①車上カメラ及びハンディカメラによる映像発信
- ②テレビ会議システム、電話・FAX及び40インチモニターによる緊密な情報共有
- ③ワンタッチでの衛星捕捉、無線従事者不要



## 地域衛星通信ネットワーク担当者連絡会議開催のお知らせ

本年度の担当者会議は、6月8日（月）午後1時から都道府県会館（東京都千代田区）にて開催いたしますので、是非ご出席ください。

## 機構がJ-ALERTの「地上配信機関」に指定されました。

機構は、平成21年2月に、総務省消防庁が定めた「全国瞬時警報システム（J-ALERT）業務規程」第二条第二項に規定する「地上配信機関」に指定されました。

## 本年度も引き続き、J-ALERT専用小型受信機についての「出前説明会」を実施します。

LascomNews第37号でもご案内した、都道府県向けのJ-ALERT専用小型受信機についての説明及びデモンストレーションを行います。管内の市町村の担当者等を集めた会議等の際に、30～45分程度の時間を頂ければ機構から職員を派遣いたします。どうぞご利用ください。

## 自治体衛星通信機構人事異動

### 退任 平成21年3月31日付け

総務部総務課  
総務課長 番場 芳広（兼情報企画課長）  
技術部ネットワーク推進課  
ネットワーク推進課長 山木 賢蔵  
調査役 鷺坂 敦  
技術部システム開発課  
調査役 遠藤 利行  
調査役 小林 満男  
山口管制局 運用・技術課  
調査役 塗本 正行  
公的個人認証サービスセンター  
副センター長 明治 将介  
技術主査 長原 孝治

### 着任 平成21年4月1日付け

総務部総務課  
総務課長 福嶋 秀幸（兼情報企画課長）  
技術部ネットワーク推進課  
ネットワーク推進課長 山倉 隆男  
技術部システム開発課  
調査役 岡崎 秀哉  
技術主査 橋場 敏夫  
山口管制局 運用・技術課  
調査役 管 哲宏  
公的個人認証サービスセンター  
副センター長 高橋 亘  
（兼システム更改準備室長 昇格）  
調査役 四十谷 利浩  
技術主任 星 秀明

## 電子証明書の発行が110万件を突破

公的個人認証サービスは、財団法人自治体衛星通信機構が総務大臣から指定認証機関に指定を受けたのち、都道府県の委任に基づき、平成16年1月29日からサービスを開始しています。

電子証明書の発行件数は、平成20年度に新たに約42万件の発行があり、サービス開始以来累計で110万件を超えました。これは、平成19年度の税制改正により、平成19年分又は平成20年分の所得税について電子申告で行った場合、最高で5千円の税額控除が受けられるようになったこともあり、平成19年度から電子証明書の発行件数は著しく増加しています。

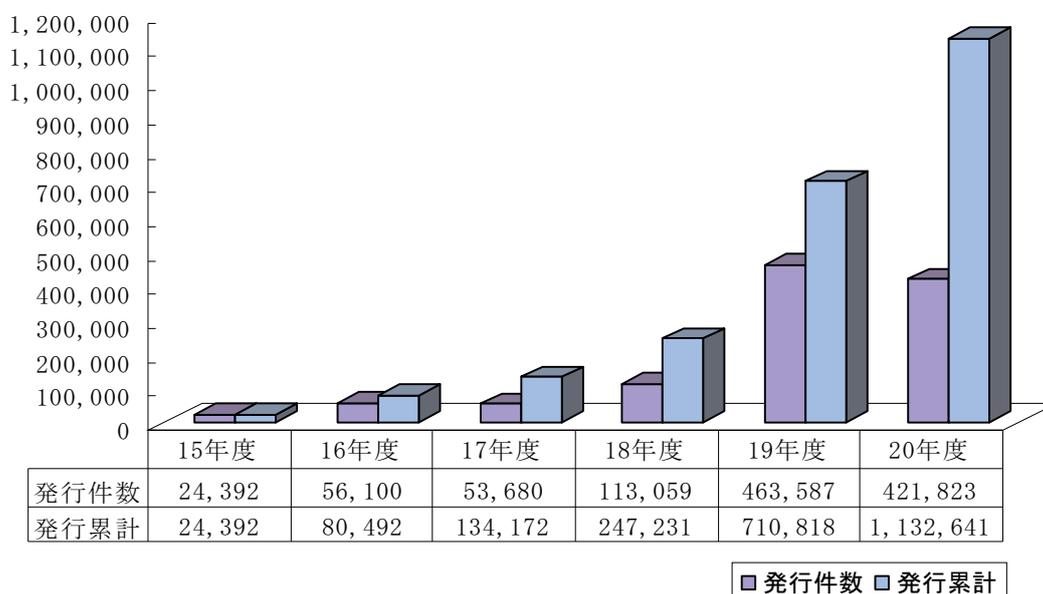
この制度は、さらに2年間延長され平成21年分又は平成22年分についても適用\*されることになり、さらなる電子証明書の発行件数の増加と公的個人認証サービスの普及拡大が期待されます。

また、当センターでは、平成20年度において都道府県と連携しながら、利用者クライアントソフトの機能改善やポータルサイトのリニューアル、確定申告時期に利用者のための技術的な質問に答えるためヘルプデスクを設置するなど利用者の利便性向上に努めてまいりました。

今号においては、利用者ヘルプデスクに寄せられました、利用者からの疑問・質問が多かったものについて、ご紹介いたします。

\* 電子申告で申告を行った場合の税額控除は平成19年分、平成20年分、平成21年分、平成22年分のいずれか1年分です。(平成19年分で既に税額控除を受けている場合は、平成20年以降は受けられないということになります。)

### 電子証明書発行件数推移表



# 【利用者の方から多かった質問のご紹介】

## 「お問い合わせの傾向」

NO	カテゴリ	2008年12月 (※1)	2009年1月	2009年2月	2009年3月 (※2)	合計
1	電子申請・申告関連	10	142	434	321	907
2	クライアントソフト-ICカードR/W-ドライバ関連	8	82	361	251	702
3	クライアントソフト-操作関連-インストール	8	107	329	152	596
4	クライアントソフト-操作関連-PW関連	4	61	242	173	480
5	電子申請・申告-操作関連	4	95	265	104	468
6	クライアントソフト-操作関連-証明書表示	1	73	203	111	388
7	クライアントソフト-ICカードR/W-ICカードR/W設定	6	49	232	93	380
8	クライアントソフト-ICカード	1	29	101	76	207
9	クライアントソフト-動作環境-JRE	6	32	100	69	207
10	クライアントソフト-ICカードR/W-適合性検証機種	14	38	91	51	194
—	その他 (TOP10以外のカテゴリ)	35	203	453	300	991
合計		97	911	2,811	1,701	5,520

※1 2008年12月15日以降の実績

※2 2009年3月16日までの実績

## 「主なお問い合わせ」

NO	カテゴリ	問合せ内容	対処内容
1	電子申請・申告関連	①電子申告をしているときに、エラー「ICカードを認識できませんでした」が表示された。 ②電子申告をしているときに、エラー「パスワードが違います」が表示された。	①「ICカードR/Wのドライバインストール状況の確認」、「利用者クライアントソフトのICカードR/Wの設定」、「利用者クライアントソフトの再インストールまたはアップデートの実施」を行い利用者クライアントソフトで自分の証明書が表示できるか確認していただき、電子申告でエラーとなる場合には、電子申告の窓口に関合せていただくようご案内しました。 ②利用者クライアントソフトで自分の証明書が表示できることを確認したうえで、電子申告では別の暗証番号等が必要であることを説明し、不満足は電子申告の窓口に関合せていただくようご案内しました。
2	クライアントソフト-ICカードR/W-ドライバ関連	利用者クライアントソフトの「自分の証明書」をクリックした際、エラー「ICカードに接続できません」が表示された。	「ICカードR/Wのドライバインストール状況の確認」、「利用者クライアントソフトのICカードR/Wの設定」、「利用者クライアントソフトの再インストールまたはアップデートの実施」を行い利用者クライアントソフトで自分の証明書が表示できるか確認していただき、電子申告でエラーとなる場合には、電子申告の窓口に関合せていただくようご案内しました。
3	クライアントソフト-操作関連-インストール	①利用者クライアントソフトのインストール方法を教えてほしい。 ②利用者クライアントソフトのアップデート方法を教えてほしい。	①②「ポータルサイトから利用者クライアントソフトのダウンロード及びインストールを実施していただくようご案内しました。また、動作確認のため、利用者クライアントソフトで自分の証明書が表示できるか確認していただいた。
4	クライアントソフト-操作関連-PW関連	①利用者クライアントソフトの「自分の証明書」をクリックした際、エラー「パスワードの確認に失敗しました」が表示された。 ②パスワードにロックがかかってしまった。 ③パスワードを忘れてしまった。	①②市区町村窓口でパスワードロックの解除申請を行っていただくようご案内しました。 ③市区町村窓口でパスワードの初期化申請を行っていただくようご案内しました。
5	クライアントソフト-ICカードR/W-ICカードR/W設定	利用者クライアントソフトで「自分の証明書」をクリックした際、エラー「ICカードに接続できません」が表示された。	「ICカードR/Wのドライバインストール状況の確認」、「利用者クライアントソフトのICカードR/Wの設定」、「利用者クライアントソフトの再インストールまたはアップデートの実施」を行い利用者クライアントソフトで自分の証明書が表示できるか確認していただいた。 改善されない場合、ICカードR/Wドライバが正常に動作しているかをICカードR/Wメーカーへ問合せいただくようご案内しました。
6	クライアントソフト-ICカード	利用者クライアントソフトで「自分の証明書」をクリックした際、エラー「(0x00000002,0x8009000D)」が表示された。	「ICカードに公的個人認証サービスの電子証明書が記録されていない」、「ICカードに記録された公的個人認証サービスの電子証明書のデータが破損している。」等が原因として考えられるため、市区町村窓口でICカード診断を受けていただくようご案内しました。
7	クライアントソフト-操作関連-証明書表示	利用者クライアントソフトで「自分の証明書」を表示する方法を教えてください。	操作方法をご案内し、エラーが表示される場合には、「ICカードR/Wのドライバインストール状況の確認」、「利用者クライアントソフトのICカードR/Wの設定」、「利用者クライアントソフトの再インストールまたはアップデートの実施」を行い利用者クライアントソフトで自分の証明書が表示できるか確認していただいた。

D r e a m s

C o m e

t r u e ♪

願ったり、叶ったり、夢みたいなホントに遭遇しちゃう宝くじなのです。

宝くじの収益金は、  
身近な街づくりに役立っています。



財団法人 **日本宝くじ協会**

当せんはしっかり調べて、しっかり換金。

<http://www.jla-takarakuji.or.jp>

●外国発行の宝くじを、日本国内において購入することは、法律で禁止されています。

D r e a m s

C o m e

t r u e ♪

願ったり、叶ったり、夢みたいなホントに遭遇しちゃう宝くじなのです。

宝くじの収益金は、  
身近な街づくりに役立っています。



財団法人 **日本宝くじ協会**

当せんはしっかり調べて、しっかり換金。

<http://www.jla-takarakuji.or.jp>